

<b>二番茶後の浅刈りが芽数および収量に及ぼす影響</b>					
【要約】 二番茶後の浅刈りは、三番茶芽の生育を遅らせるとともに秋芽も減少させる。また、母枝数の減少によって翌年一番茶の新芽数が減少し、生葉収量は低下する。一方、浅刈りの実施を見合わせると、翌年一番茶摘採期の新芽数は回復する。					
農業技術振興センター・茶業指導所・茶振興担当			【実施期間】	平成 21 年度～平成 23 年度	
【部会】	農産	【分野】	需要に応える農畜産物づくり	【予算区分】 県単	【成果分類】 指導

### 【背景・ねらい】

近年本県の茶産地において、芽数不足による一番茶の減収がみられるが、これは生産現場で慣行的に行われている二番茶摘採後の浅刈り（葉層がなくなる程度のせん枝）が大きな原因と考えられる。

このため、二番茶後の浅刈りが、茶樹の枝条生育、茶芽生育および生葉収量に及ぼす影響を明らかにする。

### 【成果の内容・特徴】

- ① 二番茶後の浅刈り（二番茶摘採面から 5cm 程度のせん枝）の実施によって、三番茶芽の生育が遅れ、萌芽期および出開度 100%に達する日は 9～10 日遅くなる（図 1、表 1）。
- ② 浅刈りの実施によってその年の秋期の整枝芽数（秋芽数）は減少する。また、母枝となる秋芽の減少によって、翌年一番茶の新芽数も減少する（図 2）。
- ③ 秋整枝量と翌年二番茶の生葉収量に浅刈りの影響はみられないが、翌年一番茶の生葉収量は浅刈りを実施することで低下する（図 2）。
- ④ 浅刈りの実施によって、一、二番茶摘採期の新芽重が大きくなり、新芽形質は芽重型を示す（図表省略）。
- ⑤ 浅刈りを連年実施した場合、秋芽数、新芽数の少ない状態が継続するが、一旦浅刈りの実施を見合わせることで秋整枝期および翌一番茶の芽数は無せん枝の場合と同等以上まで回復する（表 2）。

### 【成果の活用面・留意点】

- ① 病虫害の耕種的防除などを目的として、やむを得ず二番茶後の浅刈りを行う場合は、連年実施を避ける。
- ② 品種「やぶきた」における成果である。

## [具体的データ]

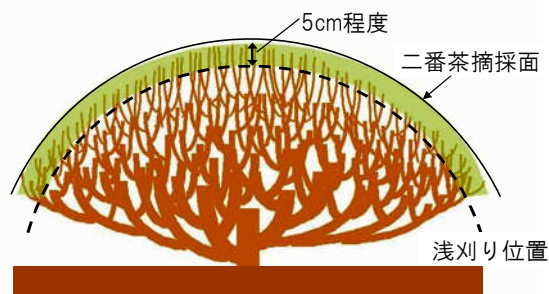


図1 二番茶後の浅刈り

表1 二番茶後の浅刈りの有無と  
三番茶芽の生育状況

試験区	三番茶芽 萌芽期	三番茶芽が 出開き度 100%に 達した日
浅刈り区	8月3日	8月20日
無せん枝区	7月24日	8月11日

注) 2009年7月10日浅刈り後の調査。

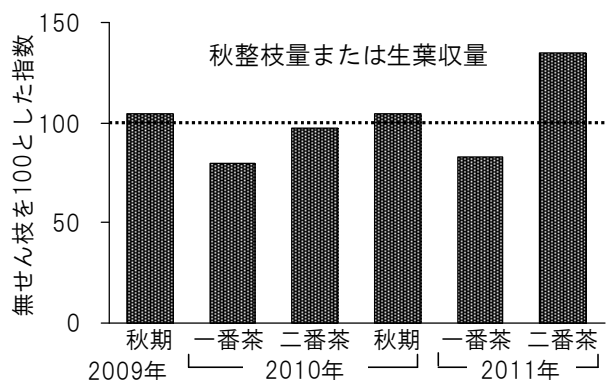
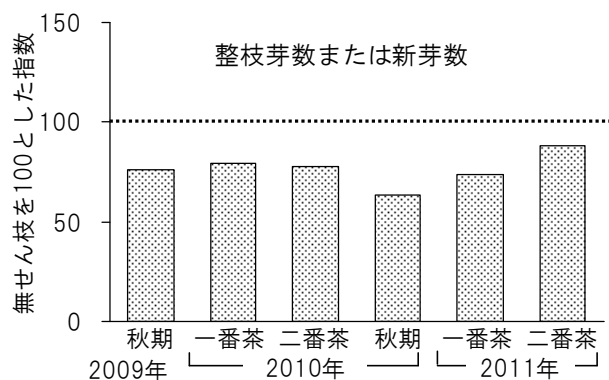


図2 二番茶後の浅刈り実施による整枝芽数と秋整枝量および翌年の新芽数と生葉収量の変化

表2 二番茶後の浅刈り実施と整枝芽数、新芽数の推移

試験区	2009年			2010年		2011年		
	浅刈り の有無	秋整枝期 整枝芽数 (本/m <sup>2</sup> )	一番茶期 新芽数 (本/m <sup>2</sup> )	二番茶期 新芽数 (本/m <sup>2</sup> )	浅刈り の有無	秋整枝期 整枝芽数 (本/m <sup>2</sup> )	一番茶期 新芽数 (本/m <sup>2</sup> )	二番茶期 新芽数 (本/m <sup>2</sup> )
連年浅刈り	あり	569 (76)	1231 (79)	897 (78)	あり	488 (89)	1219 (84)	1475 (100)
2009浅刈り	あり	569 (76)	1231 (79)	897 (78)	なし	538 (98)	1569 (108)	1419 (96)
2010浅刈り	なし	750	1553	1156	あり	350 (64)	1075 (74)	1306 (89)
無せん枝	なし	750	1553	1156	なし	550	1450	1475

注) ( )内の数字は、各時期の無せん枝を100とした指数。

2009年 浅刈り：7月10日、秋整枝：10月21日

2010年 一番茶：5月14日、二番茶：6月29～30日、浅刈り：7月13日、秋整枝：10月29日

2011年 一番茶：5月17日、二番茶：7月1日

## [その他]

### ・研究課題名

大課題名：需要に応える農畜産物づくりに関する研究

中課題名：園芸作物等の生産振興

小課題名：二番茶後の浅刈りが茶樹の生育に与える影響の解明

### ・研究担当者名：

竹若与志一 (H21～H22)、忠谷浩司 (H23)

### ・その他特記事項：平成20年度技術的要請課題：甲賀農業農村事務所農産普及課